

02

10.8 (土)

14:55~16:25

政策学部

おおわだ じゅんこ  
大和田 順子 教授

## SDGsをどのように地域づくりや政策立案に活かすのか？

### メッセージ

SDGsの視点を地域の課題解決や価値創造、そして世界の課題解決にどのようにつなげていけるのか、考えてみませんか。

### 概要

SDGsの17の目標はウエディングケーキと呼ばれる3層構造になっています。一番下は6水、13気候、14海、15陸の生態系という“自然資本”がベースになっています。中段は社会に関わる目標群、そして上段は経済に関わる目標群、17パートナーシップは全体を貫く目標です。では、この自然資本はどこにあるのでしょうか？

それは農山漁村に沢山ありますが、日本の農山漁村は過疎・高齢化という課題に直面しています。一方、私たちが暮らす都市部は食料やエネルギーの自給率が大変低く、その農山漁村に支えられています。

講義では国連食糧農業機関（FAO）の「世界農業遺産」に認定されている国内の地域（自治体や県）で、「SDGs未来都市」にも選定されている地域を事例に、SDGsの視点からどのように政策を立案し、地域の課題を解決し、新たな価値創出（ソーシャル・イノベーション）を行っているか、世界の課題解決にいかに関与しているのかと一緒に考えてみたいと思います。